

2025年5月27日

関西デジタル・マンス実行委員会  
公益社団法人 関西経済連合会  
関西広域連合  
総務省 近畿総合通信局  
経済産業省 近畿経済産業局  
一般財団法人 関西情報センター  
独立行政法人 情報処理推進機構  
独立行政法人 中小企業基盤整備機構

## 「KANSAI DX AWARD 2025」開催決定



関西デジタル・マンス実行委員会(事務局:関西経済連合会)は、関西のDX推進の機運を醸成するため、2023年に「関西デジタル・マンス」を創設し、官民連携により様々な取り組みを実施しております。

その一環として実施しておりました、DXに先進的に取り組む関西企業を表彰する「KANSAI DX AWARD」を、今年も開催いたします。先進事例を広く発信することで、みなさまの取り組みの参考としていただくとともに、関西のDX推進の機運醸成および“DX先進地域としての関西”というブランド力向上に努めてまいります。

なお、昨年に引き続き、応募内容は慶應義塾大学 医学部 教授 宮田裕章氏を委員長とする審査委員会にて審査いたします。

### 1. KANSAI DX AWARD 2025 概要(別紙1「KANSAI DX AWARD 2025 応募要領」参照)

募集対象:DXの取り組みを行う関西の企業(自薦・他薦含め募集)

表彰の種類:

🏆 グランプリ

🏆 金賞(大企業部門)

🏆 金賞(中堅・中小企業部門)

🏆 近畿総合通信局長賞

🏆 近畿経済産業局長賞

審査委員長:慶應義塾大学 医学部 教授 宮田 裕章 氏

実施スケジュール:

募集期間 2025年6月2日(月)～2025年7月31日(木)【必着】

応募方法:募集開始日までに、以下ホームページでご案内します。

(URL) <https://www.kankeiren.or.jp/kansai-dx/award/>

なお、2025年10月27日(月)に開催を予定しております関西デジタル・マンスクロージングイベント内(会場:大阪市内予定)において、表彰式および取り組み事例紹介を実施する予定です。

※詳細確定後、別途ご案内いたします。

## 2. その他

関西デジタル・マンス実施期間中のイベントについては、別途、ご案内します。

(下記ホームページにて順次公開)

(URL) <https://www.kankeiren.or.jp/kansai-dx/digital-month/>

以上

(添付資料)

別紙1 「KANSAI DX AWARD 2025 応募要領」

別紙2 「(参考)KANSAI DX AWARD 2024 受賞企業一覧」

# KANSAI DX AWARD 2025

## 応募要領

2025 年 6 月

関西デジタル・マンス実行委員会

## 1. KANSAI DX AWARD 2025 とは

「関西デジタル・マンス実行委員会」（事務局：関西経済連合会）では、関西のDX推進の機運醸成を目的として、10月を関西広域でのDX推進の強化月間とする「関西デジタル・マンス」を2023年に創設し、官民連携による様々な取り組みを実施しております。

この取り組みの一環として、企業のみなさまにDX推進のきっかけやご参考としていただくため、昨年に引き続き「KANSAI DX AWARD 2025」を実施し、関西のDX先進企業を表彰します。DXの取り組みを行う関西の企業を幅広く募集しますので、自薦・他薦を問わず、たくさんのご応募をお待ちしております。

## 2. 募集対象

- ・福井、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、徳島の各府県に本社または事業所（支店、支社、営業所、工場等）を置く企業とします。なお、上記地域に本社がない場合は、上記地域に所在する事業所の取り組みのみ応募できるものとします。
- ・事業規模等に制約はありません。
- ・KANSAI DX AWARD 2023・2024で各賞を受賞されました企業もご応募いただけます。

## 3. 募集期間・応募方法

募集期間は、2025年6月2日（月）から2025年7月31日（木）までとします。

なお、応募方法につきましては、下記のホームページよりご確認ください。

(URL) <https://www.kankeiren.or.jp/kansai-dx/award/>

### <留意事項>

- ・自薦・他薦ともに応募いただけます。他薦の場合は、推薦する企業に応募の旨および記載内容についての承諾を得たうえで応募いただきますようお願いいたします。また、応募様式の推薦者欄に、推薦者の情報を記載ください。推薦された企業が受賞された際には、推薦者名も公表させていただきます。
- ・応募様式に記載いただきました内容につきましては、許可なく審査プロセス以外で使用・公表することはありません。

#### 4. 優秀事例の表彰

優秀事例については、以下の内容で表彰します。

なお、表彰式は、2025年10月27日（月）を予定しております。

表彰内容	表彰対象
グランプリ	総合的に最も評価の高い企業
金賞（大企業部門）	総合的に評価の高い大企業
金賞（中堅・中小企業部門）	総合的に評価の高い中堅・中小企業
近畿総合通信局長賞	I C Tを利活用し、地域の魅力向上・活性化につながるD Xの取り組み
近畿経済産業局長賞	地域経済の活性化に貢献し、地域のモデルとなるようなD Xの取り組み

なお、大企業、中堅企業、中小企業は、以下のとおりとします。

大企業：常用従業員数が2,000人を超える企業（中堅企業・中小企業を除く）。

中堅企業：産業競争力強化法に定める「中堅企業者」（常用従業員数が2,000人以下の企業）に該当する企業（中小企業を除く）。

中小企業：中小企業基本法に定める「中小企業者」および「小規模企業者」に該当する企業。

#### 5. スケジュール

2025年6月2日（月） 募集開始

2025年7月31日（木） 募集締め切り

2025年10月27日（月） 表彰企業選出、表彰式開催

※審査等の状況により、スケジュールに変更が生じる場合があります。

#### 6. お問い合わせ先

関西デジタル・マンス実行委員会 事務局（関西経済連合会 産業部）

[kansai\\_dx@kankeiren.or.jp](mailto:kansai_dx@kankeiren.or.jp)

以 上



(参考)  
KANSAI DX AWARD 2024  
受賞企業一覧

# KANSAI DX AWARD 2024 受賞企業

賞	表彰対象企業
グランプリ	コマツ株式会社および同志社大学
金賞 (大企業部門)	ダイハツ工業株式会社
	ダイドーグループホールディングス株式会社
	住友電気工業株式会社
金賞 (中堅・中小企業部門)	株式会社パーシテック
	株式会社高速オフセット
	IXホールディングス株式会社
近畿総合通信局長賞	株式会社 e W e L L
近畿経済産業局長賞	株式会社ゲートジャパン

# グランプリ：コマツ株式会社および同志社大学

## 【企業・大学概要】

- ▶ コマツ株式会社：1976年に創業し、東大阪市で、インテリア設計、施工、資材販売名等、インテリア事業の全般をメインに事業展開。従業員21名。
- ▶ 同志社大学：1875年、京都に設立された同志社英学校をルーツとする、14学部・16研究科で構成される総合大学。

コマツ株式会社

×

同志社大学

かべひた

壁紙AI識別アプリ



## 【主な取組み】

- ▶ **産学連携により、画像認識AIを活用した課題解決に挑んだ。**
- ▶ 大手資材メーカーや**競合企業6社から理解、協力を得て、自社に蓄積された専門知識と、同志社大学の学術的先端技術を集結し、素材表面の微細な差異を識別要素にする「自動テキスト識別プログラム」を開発**し普及品壁紙の品番識別に成功、アプリ化した。
- ▶ 識別課題解決からアプリ化にあたり、**コマツ社内にDXソリューション事業部を新設**。アプリ開発に携わり、**同志社大、協力会社とシームレスに連携する体制を整えた。**

## 【受賞理由】

- ▶ 産学連携によるAI活用、新事業創出、競業企業との協力が素晴らしく、インテリア業界全体における長時間労働や人材不足の解消等、社会課題解に寄与するDXのモデル事例である。

# 金賞（大企業部門）：ダイハツ工業株式会社

## 【企業概要】

- 大阪府池田市に本社を置く自動車メーカー。1907年(明治40年)の創業以来、「世界中の人々に愛されるスモールカーづくり」を使命と考え、国内外で幅広い市場に展開。
- 地域にも光を当てた社会課題解決や社会貢献活動にも注力している。



## 【主な取組み】

- 福祉施設がそれぞれ単独で行っている送迎業務を集約し、地域一体で乗り合い、各施設に通う**「福祉介護・共同送迎サービス ゴイッショ」を開発。**
- 複数の施設、利用者、車両などの条件を考慮し、最も**効率的な乗合計画をAIで自動作成。**地域一体で**効率的な運行を行うことで、業務の効率化を実現。**利用施設は、送迎から解放された時間を活用し、生産性向上を図ることができ、**本来の介護サービスにより集中できる環境を構築。持続的な介護サービスの実現に寄与**する。

## 【受賞理由】

- 共同送迎サービスは介護施設の人材不足解消と働き方改革に貢献しており、交通DXいわゆるMaaSの好事例。社会課題解決に繋がり、サービスの横展開やプラットフォーム化に期待。

# 金賞（大企業部門）：ダイドーグループホールディングス株式会社

## 【企業概要】

- 大阪市北区に本社を置く、ダイドーグループの持株会社。自販機を中心にコーヒーなどの清涼飲料を展開する国内飲料事業や医薬品関連事業、食品事業に加え、トルコなどへの海外飲料事業を展開し、持続可能な経営や地域貢献にも取り組み、国内外での事業の幅を広げている。

こころとからだに、  
おいしいものを。



## 【主な取り組み】

- 「DX推進とIT基盤の構築」を経営課題の一つに据え、ビジネスイノベーショングループを中心にDX推進体制を構築。2024年5月に生成AI等のデジタル技術により働き方をサポートする「D-Brain」を始動。
- 「事務作業、倉庫作業、現地作業」という担当者一人の経験と勘に頼っていた自販機オペレーションを、分業・オンライン化・AI需要予測を導入して大きく変革し、効率的な運営を実現した。
- ダイドードリンクの販売統括部が中心となり、基盤構築や全国営業所への浸透活動を行っている。

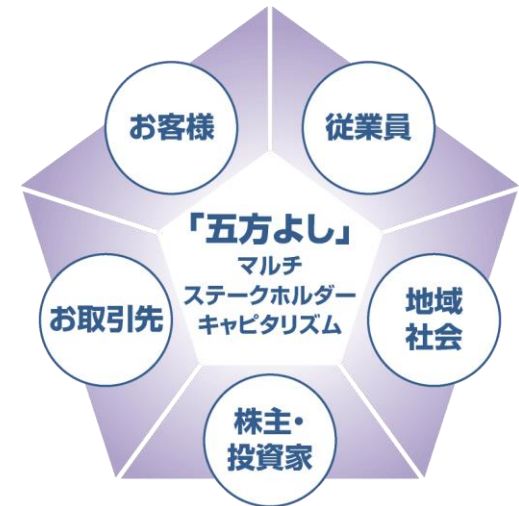
## 【受賞理由】

- 担当者の経験と勘に頼っていた自販機オペレーションを、AIを活用した新たなオペレーションに置き換えること（トランスフォーメーション）で成果に結びついている。全社ビジョン、DX推進体制の構築、DX認定取得、社内変革への取組は他社も参考になる取り組みである。

# 金賞（大企業部門）：住友電気工業株式会社

## 【企業概要】

- 1897年に設立された大阪府大阪市に本社を置く非鉄金属メーカー。電線、光ファイバー、電子機器など多岐にわたる製品を提供している。グローバルに展開しており、国内外に多くの拠点・従業員を持ち、持続可能な社会の実現に向けた技術革新を推進している。



## 【主な取組み】

- 2021年4月に**社長自らが委員長となって「DX推進委員会」を設立**し、全社的なデジタルトランスフォーメーションを進めている。**全部門に「DX推進責任者」を任命し、横断的な「DX推進実務者委員会」を形成**。2024年7月時点で70名が選任され、159の「部門DX計画」が策定された。
- 「全社DX基盤」は「モノづくり力強化」「サプライチェーン強化」「働き方改革」を柱に、データ活用と人材育成を通じて効率的な取り組みを推進している。

## 【受賞理由】

- 社長自らがリーダーシップを発揮し、組織的なDX推進に取り組んでいる。業務効率化、生産向上性が図られており、製造業企業において参考となる取り組みである。

# 金賞（中堅・中小企業部門）：株式会社パーシテック

## 【企業概要】

- 2016年に設立された京都府京都市のスマート農業支援サービス事業者。農業のIoT化を進めるビジネスモデルの提案、デジタル機器と名人技を融合させた、新しい農業の提案により、高付加価値な農産物の育成を実現し、後継者育成を展開する。



## 【主な取り組み】

- 実家の果樹農園を継承するにあたり、足腰の弱くなった父親の技能をどのように伝承するか？という自身の課題からスタートしたもの。
- センサーメーカーやスマートグラスメーカーと共に運用実証実験など協力関係を構築。**ARを駆使した遠隔作業支援ビジネスやドローンによる遠隔映像確認、農薬散布等のサービス**を開始。
- 高齢者の技能伝承課題に寄与するだけでなく、**遠隔収穫体験等の新しいサービスも展開**。

## 【受賞理由】

- 農業にARやドローン等最新技術を積極的に導入し生産性を高める取り組みとして評価。技能伝承等の地域の課題解決にも寄与している。観光ビジネスにつなげた横展開性も評価。

# 金賞（中堅・中小企業部門）：株式会社高速オフセット

## 【企業概要】

- 1986年に設立された大阪府大阪市の印刷事業者。
- EC・通販事業、デジタル事業も展開しており、クリエイティブ事業においては、官公庁や自治体をはじめ、各種企業のオフライン／オンライン媒体を手掛けている。



## 【主な取組み】

- 観光冊子やSNS運用を通じて「日本の良さを世界に知ってもらいたい」という想いがあり、インバウンド需要の高まりを受けて新たなサービスの構築を模索。2022年に**デジタル事業室を新設し、営業部、企画編集部、制作部の連携を強化**。
- 店頭で手書きをなくし、**海外向けの配送伝票をデジタルで出力する「ハコボウヤ」という電子伝票サービスを日本郵便と連携して開発**。
- 現在、**国内の配送伝票をDX化する取り組みも進めている**ところ。

## 【受賞理由】

- インバウンド需要に着目し、自社の強みや技術を活かしてサービス開発された成果を評価。小さな不便を解決することで地域経済に大きな効果をもたらすものとして期待。個別の小売店では対応が難しいものをデジタルの力と関係者の連携で解決に寄与している。

# 金賞（中堅・中小企業部門）：IXホールディングス株式会社

## 【企業概要】

- 三重県伊勢市に本社とする持株会社。「おにぎりせんべい」を主力製品とする「マスヤ」を中核に、菓子製造や酒類製造、介護事業、ホテル、ブライダル、商社、旅行業など多種多様な事業を展開している。



## 【主な取組み】

- コロナ禍の影響で、従来のビジネスモデルでは成長が難しいと判断し、デジタル技術の活用に着目。**DX推進のために経営ビジョンを策定**し、「シェアードサービス」、「オープンイノベーション」、「デジタルリテラシー向上」の3つの戦略を立案。**グループCIOを設置しデジタル事業本部を立ち上げDXを推進。**
- 従来のカスタマイズされたシステムから**SaaSへの移行を決意し、業務にシステムを合わせる姿勢を強化。**
- コミュニケーションの円滑化やペーパーレスの浸透等、**グループ横断的にDXを推進。**

## 【受賞理由】

- DX推進のためのビジョンや体制構築などの高い組織力、三重県の共創事業への参画などを幅広く評価。
- 他分野展開型でのDX推進事例として、他企業の参考になるのではないか。

# 近畿総合通信局長賞：株式会社 eWeLL

## 【企業概要】

- 2012年大阪府中央区南船場に設立。在宅医療に新しい価値の創造を行い、すべての人が安心して暮らせる社会の実現に取り組んでいる。自身の事故経験から看護師への恩返しを誓ったのが事業の原点。



## 【主な取り組み】

- **訪問看護の生産性を向上**させる、**クラウド型電子カルテ「iBow」**を開発しSaaSで提供。「iBow」は医療保険と介護保険の両方を扱う訪問看護師の複雑なオペレーションを網羅し、**誰でも簡単に使えるUI・UX**を追求することで、手書きの書類作成などアナログだった日々の業務全般を効率化する。看護師の業務負担軽減で**看護師不足の解消**に寄与するとともに、**訪問看護ステーションの経営安定化**に資する。
- また、カスタマーサポートにも力を入れており、顧客満足度も高い。日々蓄積している**全国的な慢性期医療ビッグデータ**と**生成AI等の最新技術**を駆使し、今後も在宅医療のさらなる課題解決を目指す。

## 【受賞理由】

- DX推進により人手不足を解消するとともに看護ケアの質を高めることで在宅療養者の生活の質向上に寄与するものであり地域の課題解決に大きく寄与している。

# 近畿経済産業局長賞：株式会社ゲートジャパン

## 【企業概要】

- 2005年に設立された京都市の金属加工業。
- 精密金型や金属部品の設計・製作を手掛けるファブレス企業で、多品種・小ロット・短納期・低コストを掲げている。



## 【主な取組み】

- ドキュメント管理システムを導入し、ペーパーレス化と業務進捗管理、情報共有を実現。RPAとシステム内製化を進め、業務プロセスの自動化を図った。
- **自社主導で基幹システム「Genie-us」の構築を企画・導入**。当システムによりファイル管理、メール共有サービスの連携で**作業効率およびお客様満足度が大幅に向上。案件数が2倍増、売上1.8倍増に。**
- 今後は**「Genie-us」を中心としたビジネスモデルの構築**や、**「Genie-us」の販売も視野**に入れて取り組む

## 【受賞理由】

- 業務効率を飛躍的に改善させる基幹システムの開発にとどまらず企業間エコシステムの構築を目指すものであり地域経済の活性化に大きく貢献されるDX推進事例